

平成 24 年度中南米日系農業者連携交流委託事業

第 2 回日系農協等連絡会議 概要

場所：ブラジル国バイア州ジュアゼイロ CAJB 講堂

日時：2012 年 10 月 24 日

開催：南米現地でのリーダー人材研修と組み合わせての実施。若手を中心とした研修生を出席者とし、次世代の農業を担う人材の意見を汲み上げる場とすることを目的とした。

会議出席者：17 名

- 南伯サン・ミゲール・アルカンジョ農協（ブラジル）COOP.AGRIC.SUL BRASIL DE SÃO MIGUEL ARCANJO
- サンパウロ州柿生産者協会（ブラジル）ASSOC.PAULISTA PROD.CAQUI-APPC
- サンジョアンキン農協（ブラジル）COOP.AGRÍCOLA DE SÃO JOAQUIM
- ジュアゼイロ農業協同組合（ブラジル）CAJ
- イボチ移住地（ブラジル）IBOTI
- サンフアン農牧総合協同組合（ボリビア）CAISY
- コロニア沖縄農牧総合共同組合（ボリビア）CAICO
- ボリビア農牧技術センター（ボリビア）CETABOL
- ハルディン・アメリカマテ茶生産者協同組合（アルゼンチン）COOP.YERBATERA Flor de Jardim
- ラ・コルメナ農協（パラグアイ）LA COLMEA

要旨

◇農協に関する意見・若者になかなか仕事を任せてくれないという世代交代の問題

・「農業協同組合」として機能していない（協同組合論・組織論の欠如）

→組合員の関心が低い。会議も集まりが悪く、発言も少ない

◇本事業、あるいは日本での研修に関する意見・南米の国同士で技術支援できることが多い（専門家派遣についても同様）

・南米と日本とでは取り巻く環境（農場規模・栽培体系）が異なり、応用が困難